

12) 事業主側

事業主側ニ於テハ不況ノ折柄所有船五隻中二隻ノ決船計畫  
中断シ要求ハ到底容認シ能ハス場合ニ依リテハ其ノ際要求ヲ容  
認シ交換條件トシテ二隻ノ索船ヲ敢行セントスル意欲アリ  
右及申(通)限後也

6.12.1  
37.54

善後第五十四部

昭和六年十一月二十二日

善後總監 高橋守雄

向務大臣 安達謙藏殿  
社 會 局 長 官 殿

鈴木組善後事務ニ関スル件 (第一報一発生)

要旨 中野駅構内ニ在リテ入大三十名ヲ使用スル運送業。入大ト世話後ト宣傳  
要旨ノ未(且)解決シタルニ事業主側ハ入大九名ヲ解雇。入大二十四名ハ日本運輸  
一善後組合ノ座標ヲ得テ對立シテ争議激化ノ虞アリ。善後中。

標記仲仕入大對事業主側ニ争議発生セリ。其ノ状況

記

一 発生ノ場所 東京府豊多摩郡中野町有線中野駅  
一 事業主側

發生二二四 解決一六一五  
採用労働者二四  
争議参加者二四  
関係労働組合全名